

安全衛生だより

発行
公益財団法人
いわき市教育文化事業団
総括安全衛生管理者
渡辺紀夫
いわき市常磐藤原町手道
50-1
☎0246 (43) 0391
平成29年7月7日(金)
第9号

平成29年度
安全衛生
スローガン

「あぶないな」思った時に 即改善
心がけ 意識ひとつで 事故なくす
草野心平記念文学館 事務主任 荻 哲郎
いわき海浜自然の家 指導員 大和田 孝英

新年度安全衛生 スローガン決定

平成29年度の安全衛生スローガンが決定しました。応募総数55点から厳正な審査を経て選ばれた2点は1年間の安全衛生の指針となります。また、現場における未然の危機回避や安全への引き締めになります。

スローガンを目立つ場所に掲示し、怠慢や慣れの意識を排除し事故のない職場にしましょう。各現場には危険の伴う作業があり、一人の不注意により周りの人を巻き込む事故が発生してしまう可能性がります。全職員が意識を高く持ち、朝礼や終礼などで唱和をすることにより、一層の安全につなげましょう。



渡辺紀夫総括安全衛生管理者から草野心平記念文学館の荻哲郎事務主任と、海浜自然の家の大和田孝英指導員に記念品が手渡されました。

平成29年度始動!

4月20日、平成29年度、第1回安全衛生委員会が開かれ、年間計画の確認をするともに、委員からの報告や懸案事項などについて協議いたしました。

今年度の安全衛生委員は次の通りとなりました。気が付いた点は些細なことでも、最寄りの委員に報告、相談をして改善しましょう。

安全衛生委員紹介

委員長(総括安全衛生管理者) 常務理事	渡辺 紀夫
副委員長(防火管理者) 事務局次長	木幡 成雄
委員(安全管理者) 事務局次長	猪狩 みち子
委員(衛生管理者) 文学館事務主任	荻 哲郎
委員 自然の家総括主査	駒木根 栄一
委員 調査第一係研究員	千田 一志
委員 自然の家指導員	今野 樹
委員 伝承郷学芸員	渡邊 彩
委員 事務局主事	尾股 範彦

新年度にあたり

平成29年度を迎えるにあたり、ご挨拶申し上げます。日頃より「安全」に対するご理解とご尽力に感謝申し上げます。各職場において安全の度合いは違いますが、「無事故・無災害」の環境を作り上げ、維持していくことは全員の使命であります。毎日の安全作業を確認して「現場では絶対に事故を起こさない」という強い決意を持って仕事に取り組みましょう。また、安全とは、各職場の特性に留意をし、そこでの創意工夫を重ねながら活かしていく終わりのない地道な作業です。そして、そのことは、職員だけではなく利用者であるいわき市民、福島県民に対する私たちの使命でもあります。社会教育に携わっているという意識を持ち、全職員が安全に目を向け、心を一つに励んでください。

また、そのためには、風通しの良い、気軽に話しあえる楽しい職場環境を意識いたしましょう。みんなで、声をかけ合いながら、頑張っていきましょう。それでは、今年度も「ご安全に」!

渡辺紀夫総括安全衛生管理者

計画的な安全衛生活動を

安全衛生においては、日常的な安全への心がけはもとより、年間を通じた活動の継続、実施も重要です。委員会の活動予定を確認しつつ、各職場の状況に応じて計画的に安全衛生活動を展開していきます。また、各研修に参加してスキルアップに努め、研修者が各施設で啓蒙に努めることにより全体の安全衛生への環境を高めていくことが大切です。

研修会報告

安全衛生推進者養成講習
平成28年9月27、28日

場所 いわき市新舞子ハイツ

事故は、危険だと思われるような現場だけではなく、何もないような学校の事務室でさえも起きています。キャスター付きの椅子の上で電球交換を行い、転げ落ちて、重大な事故が起きたりしている。また、小さな段差や配線などに躓いても大けがが起きていることなどを学びました。絶対に安全なこととはなく、些細なことも見逃さないことが大切であり、そのことが、大きな事故を防ぐということを認識いたしました。(駒木根委員)



蜂トラップ

私たちの周りには多くの危険生物が存在しています。その中でも、スズメバチによる死亡事故が多発しております。毎年、20人〜50人程度の被害者がでています。スズメバチが活動する前に、各施設でのスズメバチ対策が必要です。参考として、いわき海浜自然の家で作っている蜂トラップの作り方を紹介いたします。

横1cm×縦3cm程度の長方形の穴3カ所をペットボトルの上部に作り、底から約7cmほど液体を入れます。

液体の中身については、砂糖などの甘み成分か、アルコール類が入っていればそれほどこだわらなくてもよいと思います。自然の家では、砂糖1袋に対して、酒2500CC、酢800CCなどを調合しています。グレープやオレンジなどの果汁ジュースなどを入れると効果倍増です。中身よりも、5月中などの早めに設置することが大切です。

注意点

約3m位の高さに吊します。高さが低いと、蜂が入ろうとしたときに人間に衝突して刺される危険が高くなります。

早めの設置

5〜6月にかけては女王バチが飛び回ります。その時期に捕獲できれば、一匹で一つの巣を駆除したことになります。



刺されたら

万が一刺されたら毒をしばらく出し冷水で流します。なお、蜂アレルギーをもって人は大変危険です。2度刺されると約10%の人が、アナフィラキシーになり、その内約2%の人に命の危険があります。刺されてから数分で症状がでます。全身が赤くなる、呼吸困難、血圧低下、意識が朦朧としてきた場合などは大変危険です。心臓が停止するまで大体15分位との報告があります。迷わずに直ぐ病院に連れて行くことが必要です。

蜂アレルギーの無い人は何度刺されても死につながることはありません。心配な場合は、皮膚科で一度検査をしてみれば安心です。

その他の危険害虫

セアカゴケグモ

オーストラリアを原産地として、世界中に生息地を広めている毒グモです。日本でも1995年に大阪府高石市で確認されたから全国に拡大しています。県内でも2013年には会津若松市、2015年には三春町でも確認されています。既に、いわき市内でも生息している可能性もあります。もし、見つけても絶対に素手で触ってはいけません。咬まれてしまうと、患部が腫れて、激しい痛みを生じます。咬まれてしまったらクモの死骸を持参して、速やかに医療機関を受診してください。背中に赤い菱形の模様が2つ縦に並んでおり他のクモと見分けがつきやすく、基本的には自分から逃げるおとなしく、クモです。



セアカゴケグモ



ヒアリ (火蟻)

ヒアリ (火蟻)

南米原産のアリの一種。大変強力な猛毒を持ち、刺されると火傷のような激しい痛みがあり、脳梗塞や失明を起こす大変危険なアリです。また、蜂毒と同じようにアナフィラキシーショックを起こし、アメリカでは毎年約100人の死亡者を出すために殺人アリと呼ばれています。

熱中症対策

既に、オーストラリアや中国、台湾などには定着しており、今年になり日本でも神戸港や名古屋港、東京港など各地で発見されているために、県内でも注意が必要です。

また、これ以外にも私たちの周りにはムカデ、チャドクガなど危険な生き物が多く生息しております。草刈りや外での作業時には長袖、長ズボン、長靴など服装に留意しての作業が必要です。

7月となり、夏本番の季節になってまいりました。気温が上昇すると、心配なのが熱中症です。昨年のいわき市消防本部によりますと、平成28年は市内で140人の方が熱中症で搬送されています。気温がそれほど高くない日であっても、湿度が高ければ熱中症への警戒が必要です。こまめな水分補給と早めの休憩が大切です。また、各自の自己管理だけではなく、一緒に働く周りの人たちの体調に留意し、顔色に注意したり声を掛け合ったりするなど、職場全体で互いの体調に気をつけあうことが大切です。

万が一、熱中症の人がでたらすぐに身体を冷やします。冷房の効いている部屋や車などで身体を休ませたり、首もとや脇の下などの大きな血管の通っているところを冷やしてください。

意識が朦朧としている場合は、迷わず救急車を手配してください。

